



教育目標「学ぶ心 自主の心 思いやりの心」

校訓「勤労 自主 誠実」

学校だより 11月号

令和6年11月18日

八王子市立元八王子中学校

校長 山口 徹

ホームページ <http://hachioji-school.ed.jp/mthtj/>

## 「行事」

校長 山口 徹

11月の中旬となり、校庭の木々の葉も赤や黄色が目立つようになってきました。季節の移り変わりを見ることで、生徒たちも自然への興味・関心をもってくれることと思います。また、今までは、比較的過ごしやすい気温でしたが、今週から一気に冬を体感するような寒さが予想されています。生徒たちには、寒暖差による体調不良にならないように服装や栄養のある食事、十分な睡眠など生活習慣にも気を付けるよう注意を促していきませんが、ご家庭でも注意喚起をよろしく願いいたします。

さて、先月行われました「音楽祭」に多くの保護者や地域の方々が、鑑賞していただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。今年から「合唱コンクール」から「音楽祭」に名称を変更して実施いたしました。発表内容は、従来行ってきたものと変更はありませんが、昨年度から教職員の間で合唱だけでなく合奏も行われているので、合奏している生徒たちの気持ちを大切にしたいという意見が出て、「音楽祭」に名称を変更しました。当日は、どの学年も合唱や合奏を緊張しながらも練習の成果を少しでも発揮しようと一生懸命取り組む姿が見ることができとても嬉しく思いました。音楽祭に向けたポスターや指揮者、伴奏者をはじめ合唱に対する表彰を行いました。どの作品、発表も素晴らしく全員が表彰の対象だと思えました。音楽祭後の感想文では、次の様なことを書いている生徒もいました。スペースの関係で、一部加工して掲載させていただきます。

- 私が音楽祭を通して学んだことは、諦めないことの大切さです。（中略）今後、どんな壁が来ても、諦めないで努力するようにしていきたいです。また、諦めないで努力することを、来年の行事にも生かして、優勝をつかみ取れるように頑張ります。
- 音楽祭で学んだことがあります。一つ目は、クラスの団結力の大切さです。二つ目は、声を出して歌う楽しさです。三つ目は、クラスの努力が優勝になることの嬉しさです。四つ目は、学年合唱をする意味です。先生が、音楽祭をする意味を生徒に聞いていました。いろいろな意見が出ました。音楽祭を終えて、「学年合唱をする意味」を考えてみました。しかし、その意味を見つけることができませんでした。三年生になったら、二年生の時よりも、いい声で歌いられるように練習していき、「学年合唱をする意味」を見つけていきたいです。

ここに掲載することができませんが、その他にも「周りの人への感謝」など生徒一人一人が、音楽祭を通して成長している姿が見られました。

10月下旬の1週間、生活委員会を主催の「あいさつ運動」が、東西の校門で行われました。生徒が主体的に取り組むことと同時に生徒だけでなく近隣の方にも挨拶をすることも活動内容にしていたことは、とても立派でした。

また、11月9日(土)に行われた青少対主催のクリーン活動にも100名以上の生徒が参加して、小学生や保護者、地域の方々、教員と一緒に地域のごみ拾いの活動にも取り組んでくれました。生徒をはじめ先生方が、学校や地域をより良くするための活動に進んで取り組んでくれることに感謝しています。

最後に学校評価のお願いです。環境を配慮してペーパーレス化に取り組んできましたが、学校評価の回収率の低下が目立ってきました。保護者や地域の方々からの多くのご意見をいただき、学校経営に反映させていただきたいため、今回から紙による調査に変更させていただきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 音楽祭

10月19日(土)、本校体育館にて音楽祭を実施しました。今年度は「合唱魂(がっしょうこん)～輝く心で enjoy～」というスローガンのもと、各学年、クラスとも、これまでの練習の成果を発揮することができました。クラス練習が始まったあたりから、感染症や季節の変わり目などで体調不良も増え、思うように練習が進まなかったクラスもありました。賞を獲ったか否かの勝敗だけにこだわることなく、これまでの皆の努力や集団としての成長に目を向けていた生徒が多かったことが、大きな収穫であったと感じます。来年度も、クラスの成長の証や日頃の感謝など、あたたかな思いが体育館いっぱい広がる音楽祭になるよう、生徒たちの頑張りにも期待したいと思います。〔音楽祭担当〕



## 8組 校外学習

10月25日(金)に実施したパラバドミントン観戦の校外学習では、西八王子駅から原宿駅までの長距離移動を含む行程を、生徒たちは立派に行動し、秩序を守っていました。国立代々木体育館では試合観戦だけでなく、競技用車イスや義足の体験も行い、障害のある選手たちの競技に対する理解を深める貴重な機会となりました。この経験を通して、生徒たちはスポーツの多様性と挑戦することの大切さを学びました。〔校外学習担当〕



## 道徳授業地区公開講座

11月2日(土)に道徳授業地区公開講座を実施しました。今年度のテーマは「生命の尊さ」です。1学年は「ぼくの生まれた日-ドラえもん-」という題材を通し、自分が生まれ、生きていることのかげがえのなさやありがたさについて考えました。2学年は「100万回生きたねこ」という題材を通し、生きていることが当たり前と感じていたねこの生き方の変化を通して、幸せな人生を送るためにどのような生き方をしたらよいかを考えました。3学年は「いのちの花プロジェクト」という題材を通し、自分の生命だけでなく、自分をとりまく生命について考えました。8組は「いのちを考える」という題材を通して、動物たちを類別する活動を行い、客観的に生命を見つめ直し、その重さや尊さについて考えました。

多くの保護者や地域の方々、教育関係者がご来校くださいました。今年度は、宮上中学校の海老沢宏主幹教諭に来校いただき、言葉の捉え方や人との関わり方、10円玉に描かれた平等院の話など講演いただきました。意見交流会では、各学年、8組に分かれ、授業の感想や学年、クラス、ご家庭の様子など話し合いました。貴重なご意見をありがとうございました。道徳の授業公開、意見交流会を通して、生徒の心の教育や学校教育のあり方について考え、よりよい教育活動のあり方を考えていく機会に繋がってほしいです。

〔道徳教育推進担当〕



## 八王子市中学校駅伝競走大会

11月3日、第76回八王子市中学校駅伝競走大会兼第40回八王子市中学校女子駅伝競走大会が、上柚木公園陸上競技場で行われました。大会の三週間前から、生徒達は週三回の朝練を行ってきました。辛い練習にも関わらず真剣に取り組む様子が見られました。生徒達は今後も、目標に向かって努力を継続してほしいです。〔陸上競技部顧問〕

